

南 みなみたね 議会だより

第4回定例会

第192号 発行 令和8年1月30日

- 発行責任者：南種子町議会議長 塩釜 俊朗
- 編集：議会広報編集委員会
- 住所：南種子町中之上2793-1 電話26-1111



令和7年第4回定例会が12月4日～12日まで開かれました。

主な内容	
一般質問(5名).....	2P～4P
論 点.....	4P～5P
委員長報告(総務文教委員会).....	6P
委員長報告(決算審査特別委員会).....	7P
人事・閉会中の継続調査・議会の動向・定例会の予定 議会傍聴・編集後記.....	8P



右の二次元コードをスマートフォンなどで、読み取ると「YouTube 南種子議会チャンネル」が閲覧できます。
是非、チャンネル登録をお願いいたします。

一般質問



上園 和信 議員



QRコード

宇宙開発への全面支援・協力態勢づくりについて

上園 政府は、宇宙産業の振興と誘致政策を強めており、新型主力ロケット「H3」の発射場設備の拡充に乗り出すようで、種子島宇宙センターにある人工衛星組み立て棟や燃料貯蔵タンクを増やし、1カ月間隔で発射できる能力を持たせ、年間打ち上げ目標を7機以上とし、国内外から衛星打ち上げ需要に応えるため、種子島宇宙センターの体制づくりを進めている。

国際化に対応した町づくり、宇宙ビジネスの誘致促進、宇宙観光の推進などを、強力で推進していかねければなら

りません。「宇宙開発推進課(室)」なる部署を開設する考えはないか。

町長 本町の現状は、行政全体の職員数が限られており、新たな課や室を新設するためには、専門性を有する人材の確保、既存組織の見直しなど、体制面での相応の調整を要する状況にあります。

こうした中、令和7年1月に「宇宙のまち推進係」を設置して、宇宙関連施策を専門的に担当する体制の強化を進めているところです。

今後は現行組織の中で、宇宙関連の企画・調整機能をどのように充実させるのか、そしてまた、関係機関・企業との連携をより深めるための体制の在り方について、引き続き研究・検討を進めてまいります。



一般質問



濱田 一徳 議員



QRコード

あおぞら保育園の今後は

濱田 アンケート結果は。

町長 5月通園児の保護者全員128世帯に実施、回答71世帯で回答率55%であった。

福祉事務所長 保育施設の満足度は92%。改善点は無回答51.3%。公立の民営化・廃止はどちらとも言えない49.3%。民営化の場合不安事項は、環境の変化が子供に及ぼす影響32.3%。保育士の待遇や人材不足への不安29.3%。運営の安定性23.3%。民営化で期待される点は、保育サービスの向上20.3%。保育士の処遇改善23.3%。運営の効率化や休日保育の充実10.5%であった。

濱田 町の判断はどうか。

町長 行政改革推進本部を立ち

上げ検討している。町民・保護者が望まない方向に進めることはない。

前之浜の防風・防潮林の保護及び門倉岬崖崩落防止要望

濱田 防風・防潮林の町への一部権限移譲はできないか。

町長 国有林で、森林法等の法律の縛りで現状では厳しい。

濱田 門倉岬突端の崖崩落防止要望に対する対策について。

町長 本町単独での対策は非常に厳しい。熊毛支庁等とも協議し、合同で視察も実施した。国・県の補助制度の活用もお願いした。

議会にもお願いして国・県に要望したい。

飼料・肥料の価格高騰に対する補助の継続について

濱田 価格高騰に対する補助の継続についてどう考えるか。

町長 町単独で3年間実施してきた。今後については、補助金の基本方針を踏まえ適切な支援の在り方を判断したい。

一般質問

商店街の活性化について

平島 町内では肌着や作業着などを購入することが出来ない状態です。高齢者には、友人などに頼んで中種子や西之表まで、ガソリン代を負担して連れて行ってもらっている方もいます。ぜひ町内に商工会と連携して名店街・総合的なショッピングセンターの新設について考えは。

町長 平成29年に、前町長にサムズより町内への出店について要望書が提出され、検討を行いました。商工会と十分協議を行っていく必要があると判断したという経緯があるようです。また、今年度、別の企業へも働きか

けを行っております。企業誘致を継続して働きかけが、今後必要ではないかと感じている。

空き家対策について

平島 近年日本の各地で空き家問題が深刻化しております。本町の空き家件数は。

町長 10月末時点で賃貸物件133件、売却物件16件となっております。

平島 地権者との関係もあると思うが、空き家の改修については「移住定住促進補助制度」を利用して、宇宙留学・Iターンの方々の方々の定住促進になると思うが。

町長 助成額が低いため改修等が行えず空き家のままにしているという情報はきておりません。他にも理由がありそうです。そういった件も含め十分部内で調査検討したい。

一般質問

馬毛島先遣隊新設記念行事懇親会について

野首 航空自衛隊からの案内はどのような内容だったのか。

町長 航空自衛隊春日基地西部航空警戒管制団から、「馬毛島先遣隊新設記念行事として、地元3市町の首長や職員等を無料で招待する」との案内を受けている。

野首 「無料・主催者負担」と明確に案内している中で、西之表市や中種子町が個人負担としたことが、主催者意向との整合性の面で疑問が残るが、本町としてどのように認識しているのか。

町長 主催者から示された公式な案内内容に基づき、招待行事として適切に判断したものであり、個人負担を前提とするような性格のものではない

と受け止めている。

野首 今回の懇親会への支払いは最終的にどんな対応をしているのか。

町長 本件は主催者が全額負担する公式行事としての無料招待であり、その取扱いに従って出席したという判断を最終的に維持することとした。

「SPEC CETOWN」の運用について

野首 土・日・祝日の運行の導入は出来ないか。

町長 町民が求めるニーズに 대응するため、土・日・祝日の運行は、町としても希望したいところではあるが、現状では非常に厳しい状況であると考えている。

安全安心なまちづくりについて

野首 「防犯指導員」の設置は出来ないか。

町長 現時点で新たに「防犯指導員制度」を設置することは、体制整備、運用面からみても難しいと考えている。



平島 強 議員



QRコード



野首 久教 議員



QRコード

一般質問



福島 照男 議員



QRコード

持続可能なまちづくり戦略について

福島 稼げるまちづくりをどうやって作っていくのか、どの分野を強化していくのか伺う。

町長 農業分野に於いては、一例ですが、年明けから出荷する貯蔵性の高いかぼちやの試験栽培に取り組んでおり、高値販売が期待できることから生産者も増えています。

また、急速冷凍機を導入しています。が、上手く活用できていないので、先日横浜に視察に行ってきました。いろいろな物が冷凍されて商品化されており、その場で販売もされているのを見て、本町でもできると確信しました。地元

にある食材を活用して、稼げる取り組みが重要と考えます。

宇宙関連ビジネスについては、年間打ち上げ回数が7・8機想定されることから、経済効果をさらに高めていくためにJAXAとの共創体制の強化に向けた協議を進めているところで

福島 自主財源確保にふるさと納税は大変有効な手段ですが、取り組み強化に向けた対策を伺う。

町長 本町には、安納芋やその他の果実・魚貝類など大変恵まれた特産品があります。これらをどう商品化し、価値を高めていくかということが重要です。現在建設を進めている特産品開発センターは、まさにその後押しをするための拠点にできると思っています。この施設を活用して商品化を進めれば、ふるさと納税の面白い分野もできると感じています。

論点

第4回定例会

条例

南種子町福祉事務所設置条例を廃止する条例制定について

提案理由

住民サービスの安定を優先に考え、県への事務移管を行うことにより、事務所を存続させる法的義務的な必要性がなくなることから、条例改正を行うもの。

質疑 令和8年4月1日から、施行することだが、名称変更を行い業務内容については、生活保護事務以外を継続していくのか。

答弁

名称変更については、検討中であります。また、業務については、生活保護の決定事務や訪問業務以外の業務は、しっかりと維持していかなければならないことから、課の在り方を検討していきます。

原案可決

南種子町乳幼児等通園支援事業の設置及び運営に関する基準を定める条例制定について

提案理由

子供支援法に基づき、国が新たに創設した乳児等通園支援事業を本町で確実に実施する必要な基準を定めるため条例制定を行うもの。

質疑 保育料に変更があるのか。

答弁 現時点では具体的な金額をお示しできる状況ではありません。国から公定価格等が示され次第、速やかに法廷整備を進めます。

原案可決

契約

工事請負変更契約の締結について（令和7年度農業者トレーニンングセンターの改修事業1工区）

提案理由

設計数量変更に伴い、工事請負契約の増額を行うもの。

原案可決

予 算

令和7年度南種子町一般会計 補正予算(第4号)

提案理由

予算総額に歳入歳出それぞれ1億200万円追加し、総額を歳入歳入それぞれ79億4,201万7千円とするもの。

補正内容は、子供のための教育保育給付費など扶助費に要する費用が主なもの。

質疑 道の駅の基本計画策定業務委託が減額となっているが、減額の理由の説明を求める。

答弁 道の駅認定において不足する機能等を整備した場合、既存の売り場面積、売り上げの減少が予想され、さらに不足する機能の整備に5,000万円以上の経費を要する試算があったところです。よって、今回については、基本構想の計画に進まず減額を行うものであります。

原案可決

令和7年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)

提案理由

予算総額に歳入歳出それぞれ560万円追加し、総額を歳入歳出それぞれ7億8,560万円とするもの。

原案可決

令和7年度南種子町介護保険特別会計補正予算(第3号)

提案理由

予算総額に歳入歳出それぞれ345万6千円追加し、総額を歳入歳入それぞれ7億2,636万2千円とするもの。

原案可決

令和7年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)

提案理由

予算総額に歳入歳出それぞれ350万円追加し総額を歳入歳入それぞれ1億1,540万円とするもの。

原案可決

令和7年度南種子町水道事業会計補正予算(第3号)

提案理由

事業に伴う収益的収入を1,193万9千円。支出で8千円をそれぞれ増額し、また資本的収入で1,160万円を減額するもの。

原案可決

令和7年度南種子町一般会計補正予算(第5号)

提案理由

国による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業に要する費用が主なもので、予算総額に1億4,158万千円を追加し、総額を80億8,359万8千円とするもの。

質疑 どのような方が対象となるか。

答弁 全町民となります。また、金額については1人当たり2万3千円を行います。

原案可決

そ の 他

発委「南種子町門倉岬突端の崖崩落防止対策の早急な実施を求める意見書提出について」

提案理由

鹿児島県による現地の早急な実施調査と応急的な崩落防止措置の継続強化。国及び鹿児島県の主導による本格的な崩落防止対策の計画的な実施について意見書の提出をするもの。

原案可決



総務文教委員会報告

(総務文教委員会)

委員長 野首 久教
副委員長 柳田 博

委員 塩釜 俊朗
委員 上園 和信
委員 大崎 照男

総務文教委員会では、閉会中の継続審査・調査(所管事務調査)として、「各教育施設の現状調査について」、町内の小学校8校と、中学校1校を訪問し、空調設備、衛生設備、放送設備等について現状の確認を実施しています。

第1回目は、前回の「議会だより」にも報告しましたが、8月29日の夏休み期間中に、荃南小学校、平山小学校、長谷小学校、島間小学校の4校を訪問しました。



第2回目については、10月27日に、大川小学校、西野小学校、花峰小学校の3校を訪問しました。

また、第3回目を12月17日に、中平小学校、南種子中学校を訪問し、町内の全ての小・中学校を訪問することが出来ました。

町内においては既に、令和5年度に荃南小学校が、平成6年度には、平山小学校、島間小学校、西野小学校の合計4校が150周年を迎えており、歴史の長さを感じるところであります。

また、町内5校の中学校を統合し、平成7年度に開校した南種子中学校も、今年度で30年を経過することになります。

第1回目に訪れた小学校は、夏休み期間中だったため児童はおらず、寂しい学校訪問となりましたが、第2回目と3回目に訪れた小学校と中学校は、二期の期間中であり、どの学校の児童・生徒からも元氣よく挨拶がされ、またこちらからの挨拶にも元氣よく応えて頂き、子供達に元氣を貰いながらの学校訪問となりました。

特に中平小学校は、他の小学校に比べ児童数が164名と多く、学校全体の賑やかさに感動することでした。



各学校においては、各設備に異常が確認された場合は、その都度所管課である教育委員会管理課に報告・連絡・相談をしながら対応して頂いているとの現状であり、至急処置を実施しなければならぬ事項は見受けられませんでした。

また、再編交付金を活用し実施された、各小・中学校体育館のLED照明化事業は、水銀灯からLEDライトに交換されたことで、照明も明るく改善され、どの学校からも好評を博していました。

今回の所管事務調査については、開催された委員会の内容を整理し、令和7年第1回定例会にて報告する予定にしています。

決算審査特別委員会報告

- | | | | |
|------|-------|----|--------|
| 委員長 | 福島 照男 | 委員 | 大崎 照男 |
| 副委員長 | 野首 久教 | 委員 | 柳田 博 |
| 委員 | 濱田 一徳 | 委員 | 平畠 強 |
| 委員 | 上園 和信 | 委員 | 川内田 行博 |

令和6年度南種子町一般会計及び3特別会計並びに水道事業会計の歳入歳出決算認定に掛かる審査の経過と結果について報告致します。

委員会は、議長と議選監査員を除く議員8名で構成し、10月2日から14日の内5日間審査に当たりました。

審査の基本方針は、予算議決の趣旨と目的に従って、適正かつ効率的に執行されているか、それによつてどのような行政効果が発揮されているかなど。

町税・使用料・手数料等の徴収は適正にされているか、支出は適正にされているか、補助金の効果は上がっているか等の視点から審査に当たりました。

審査は各課別に行い、1年間の業務内容の報告を求めた後、審査基本方針に乗っ取り、確認・チェック・質問を重ねながら矛盾点や改善点はないかなど審査を進めました。

令和6年度の決算、4,876万円



の黒字決算となっており、健全な財政運営がなされていると認められます。

主な概要報告

令和6年分の申告総所得は71億994万円の前年比8.6%増、町税額は9億2,183万円の前年比5.2%増となっております。

ふるさと納税については、寄付件数2,731件、寄付額は5,739万

円で、前年度比16%増となっております。令和6年度の農家数459戸で、生産実績は27億789万円で、前年度比6.6%増となっております。

清掃センターについては、平成7年に建設され、老朽化が進んでいます。国は、広域化を進める前提が補助事業対象としているため、単独での建て替えや大規模修理が厳しい状況にあり、毎年3,000万円の維持費を充当しています。

宇宙留学制度は、小規模校存続の手立てとして29年目になり、小学校に49人、中学校に6人受け入れ、複式学級の解消や地域活性化の問題などに対応しています。

建設課においては、令和7年1月から水道課と土地改良係を併合して業務を行っているが、技術職の一体化により業務効率が図られています。

決算認定について

審査終了後、令和6年度南種子町一般会計歳入歳出決算認定及び3特別会計歳入歳出決算認定と水道事業会計決算認定について、それぞれに討論・採決を行った。

その結果、全ての会計について、これを「認定すべきもの」と全会一致で決定しました。

総括

自主財源の比率が低いので増額に向けた対策、町民は依然と物価高に苦しんでおり、所得向上に向けた対策、少子高齢化は加速的に進んでおり、福祉対策の充実等が課題となります。

ホームページの閲覧について

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると南種子町議会の議会だより(平成27年3月発行分以降)と定例会の会議録(平成27年第2回定例会分以降)の閲覧ができます。是非ご利用ください。

議会だより



会議録



人事

固定資産評価審査委員会委員の選任について

前任者の任期満了に伴い新たに選任するもので、坂口伸二氏（平山）が同意されました。



坂口 伸二氏

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

法務大臣が委嘱する人権擁護委員の濱田広文氏（西之）の推薦について、議会の意見を求めるもの。



濱田 広文氏

1		12			11			月
15	17	12	5	4	25	21	17	日曜日
木	水	金	金	木	火	金	月	曜日
第1回臨時議会	総務文教委員会所管事務調査	臨時全員協議会	第4回定例議会本会議閉会	議会運営委員会	第4回定例議会本会議	第4回定例議会本会議閉会	種子屋久振興協議会要請活動	内容

【閉会中の継続調査事項】	
委員会名	調査事項
議会運営委員会	次期議会の会期日程等議会の運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項
総務文教委員会	各教育施設の現状調査について
産業厚生委員会	南種子町の産業活性化振興策全般に係る調査について
南種子町議会議員定数削減等に関する調査特別委員会	南種子町議会議員定数削減等に関する調査について
あおぞら保育園の運営に関する調査特別委員会	あおぞら保育園の運営に関する調査について

【議会の動向】（令和7年11月15日から令和8年1月15日まで）

議会を傍聴してみませんか

町民の皆様、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、多くの方に傍聴していただきたいと考えています。

傍聴するときには、傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入するだけで傍聴できます。

町議会の定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開催されています。開催日が決まりましたら防災無線でお知らせいたします。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎26-1111（内線280・281）

第1回（3月）定例会の予定

- 3月 4日（水）開会・本会議
- 17日（火）本会議
- 18日（水）最終本会議

※都合により変更となる場合があります。

次回の議会だよりは、令和8年4月末発行予定です。

編集後記

町民の皆様、に於かれましては、輝かしい2026年の新春をご家族お揃いでお迎えのこととご拝察申し上げます。誠にとてもとうございませう。

本町の「二十歳のつどい」の式典が1月3日（土）に盛大に挙行されました。名簿に目をやりますと出席者53名の中に宇宙留学生17名も参加されていました。

年ごとに少なくなつたと実感する所であり、人口減に歯止めをする様、行政、議会共々知恵を出さなければと思う所です。

議会もデジタル化に向け様々な知恵を出して、3月議会より本格的な実施に踏み入ることとしています。議員一人一人が自覚と実行力で町民の手となり足となつて働いて、働いて行く所存ですので見守りご意見をお寄せください。

最後になりますが、年末から年始にかけて天候も悪く寒い日が続きますが、ご自愛頂き今年も無病息災で過ごして頂くことをご祈念申し上げて編集後記と致します。

議会広報編集委員会
（文責）柳田 博